

# 『Mind Charging』

第 122 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 28 日

## 二代目 松本白鸚の名言



人間は、その人がどういう目にあっただけではなく、  
事が起きた際にどう対処したかで価値が決まるのだと思う。

人生とは、ノンフィクションのドラマに生出演しているようなもので、過ごしている全ての瞬間が『リアル』です。その中で、この言葉にあるように『事(アクシデント)』が起こるのは、最早“当たり前”と言っても過言ではありません。そういう意味では、みなさんが過ごしてきた十数年の中で一切問題なく“順風満帆”にやってこれたという人は一人もいないのではないのでしょうか。もちろん問題が起きないことがベストですが、問題が起きた時にどう対処するかをテーマにした方が『現実的』だと思います。

みなさんの中で『問題が起きても別に関係ない』という人はいないと思いますし、問題が起きないようにリスクマネジメントをしながら過ごしている人も多いと思います。それでも起きてしまう問題ということは、ただでさえ『やばい!』と動揺しているうえに解決への難易度が高いということです。そういう時に私たち自身に問われるのが、近年よく耳にするようになった『問題解決能力』であると考えます。

先に述べたように、細心の注意を払ったうえで行動していたとしても問題は発生するものと自覚しておくべきであり、まずはそれが問題解決能力を養う第一歩ではないのでしょうか。ことわざにも『備えあれば憂いなし』というものがあります。問題が起きたときにショックを受けている時間を、解決への道を探る時間に少しでも早く切り替える準備を常にしておくことが重要です。二歩目としては、やはり日々を大切に過ごすことだと思います。そうすることによって問題が起きた時にも最初に対処すべき点が早く明確に理解できるはずで、そして、仲間も同じように大切な時間を過ごしていると考え、仲間が抱える問題も一緒に解決してあげられるような『人間力』を育むことにも繋がるのではないのでしょうか。(編集委員：入試広報室 鈴木)

二代目 松本 白鸚(まつもと はくおう、1942年8月19日 - )は、日本の歌舞伎役者、舞踊家。屋号は高麗屋。定紋は四つ花菱、替紋は浮線蝶。日本芸術院会員。前名の九代目 松本 幸四郎(まつもと こうしろう)としても知られている。本名、藤間 昭暁(ふじま てるあき)。俳名に錦升(きんしょう)がある。また舞台演出家としての名に九代 琴松(くだい きんしょう)がある。1942年(昭和17年)、東京生まれ。暁星中学校・高等学校卒業。早稲田大学第一文学部文学科演劇専修中退。

(Wikipedia 参照)